

活動報告書

番号

7

【団体の概要】

事業名： 里山整備&親子自然体験推進事業

団体名： アジロ山の自然と環境を守る会

【活動の概要】

コロナ禍での開催で参加を心配していたが「アジロ自然の森」では森で自然体験をする元気な声が響き渡り市民からも感謝の声が聞かれます。

こうち森林救援隊への委託事業で整備した「遊歩道の新設」「風濤木の除去作業」「遊歩道周辺の草刈り」で森が美しく前日に完成した新しい遊歩道を利用した参加者から、とても安心して、幼児をつれてでも山に登れ自然体験が出来ると喜ばれました。

開会で「山の日」の事業である事やコロナの注意事項、山での注意事項を伝え開催しました。

山に登る前にみんなで焼き芋を新聞紙で包み水に濡らしアルミホイルで包む作業をして「焼き芋」が出来るのを楽しみに森へ入りました。1才位の幼児コース・元気なりピーターなどのコースに分かれて森の落ち葉や生き物を見つけたり、木や岩に登りブランコに乗ったりして日頃の運動不足を解消し、洞窟探検やコウモリ観察などで体感して大満足でした。

午後は、自然の素材を使った竹のイルミネーション作り・ストラップ作りを行いました。

又日頃焚き火を見た事がない子どもたちと焼き芋体験を行い焚き火のありがたさと危険性を学びあいみんな美味しい焼き芋に大満足でした。

整備された「アジロ自然の森」で元気に遊ぶこどもの姿を1月24日の「頑張れこうちエコ応援団」で放映されみんなの話題になっている。(12/6緑の募金事業)

【プログラム】

実施年月日： 令和2年10月4日(日)

場 所： アジロ自然の森 高知市朝倉己1152-24

日 程：

10:00 開会挨拶
 10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項
 10:20 ◎森を散策
 森の散策をして自然体験を。
 12:00 お昼
 13:00 ◎森の恵みでストラップ作り体験
 14:30 終了

参加人数： 大人	7名	子供	14名
スタッフ	8名	講師(外部指導者)	名

○参加者・スタッフの感想

山の道を上りやすくして下さり大変有りがたかった。子どもが木の実や生き物にも興味を持ち嬉しい。クラフト体験、身近にはない吊りブランコや、落ち葉のお風呂に浸かったりの山遊び…ロープやブランコも新調したり、間伐や雑草除去など、子供たちが安全に遊べるよう整備されていて、親も山の空気を吸って、気持ちよく過ごせます。子供が山で遊び、自然に触れることができよかったです。新しい道が完成しとても安心して山に登れる。、岩登りやブランコに乗れて楽しかった。運動不足が解消でき大満足顔。ストラップを作りが楽しく何個も作った。コロナを心配したがイベントを開催して良かった。みんなコロナ対策をして参加していた。暑くてしんどく大変だったが遊歩道を新設して良かった。クワ作業と杭打ち作業が大変だった。

実施年月日： 令和3年1月17日(日)

場 所： アジロ自然の森 高知市朝倉己1152-24

日 程：

10:00 開会挨拶
 10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項

10:20 ◎森を散策
みんなで焼き芋の準備を
森の散策をして自然体験を
12:00 お昼
焼き芋を食べながら昼の食事を
13:00 ◎竹細工とストラップ作り体験
竹細工によるミニイルミネーション作りを
桜・椿・シロモジの小枝を使ったストラップ作り
14:30 終了

参加人数： 大人	19名	子供	37名
スタッフ	12名	講師(外部指導者)	名

○参加者・スタッフの感想

子どもたちはゆっくりと自然を観察しながら、岩登りやブランコに乗ったりして日頃の運動不足を解消して大満足顔でした。身近にはない吊りブランコや、落ち葉のお風呂に浸かったりの山遊び…こんな体験ができるなんて、面白く、子供の知らない一面を発見できて大満足！！と喜んでおりました。兄二人は、高学年になり、あまり参加しなくなりましたが、お腹にいるころから参加している小2の娘は、本当にアジロ山で遊ぶことが大好きです。毎回参加させて頂いてますが、新しい発見、挑戦、私自信も童心に戻り楽しく参加させて頂き、本当に感謝感謝です！

焼き芋体験を実施して良かった、コロナに負けない元気な子どもの姿に感動した、苦勞して森を整備して良かった等スタッフの感想も。

活動報告書

番号

2

【団体の概要】

事業名： 命まもる美しい里山づくり
団体名： こうち森林救援隊

【活動の概要】

林内に自生している山桜(20株余り)の周辺の除間伐を進めて、自生の山桜を森のシンボル化していくとともに稜線付近の広場やそこへと続く山道付近には新たに桜を始めとした観賞木(106株)を植樹することにより、花の開花時期には地域の皆さんが楽しみ集えるような森づくりを目指してきた。
また、近隣の小中学校などにも子どもたちの遊び場や環境学習の場としての活用を促し、情操教育の醸成にも寄与するとともに来るべき南海大地震に備えるため林内の遊歩道も整備するなど、津波から命を守れる美しい里山づくりを目指している。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年12月12日(土)
場 所： 高知市長浜鳥坂山(県道16号線沿いの雑木林)

日 程：

スケジュール 令和2年12月12日(土)
8:30 鳥坂山駐車場へスタッフ集合 打ち合わせ & 準備作業
9:30 受付開始
9:50 開会式 開会挨拶(共催団体・後援団体等の紹介)
10:10 シダレザクラ(6株)山桜(20株)山モミジ(20株)ツツジ(60株)を植樹
11:50 山の日推進事業の標柱を建立 記念撮影
12:00 昼食・休憩
12:40 木工クラフト教室(ストラップ・竹太鼓・竹灯籠など)とチェーンソー講習会も開催
14:20 閉会式 現地解散

募集地区： 長浜地区を主体とした高知市内全域 募集対象： 50名
募集方法： チラシの配布とインターネット呼び掛け 参加費等： 無料
参加人数： 大人 22 名 子供 9 名
スタッフ 29 名 講師(外部指導者) 名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

○参加者・スタッフの感想

一般参加者(22名)の内、15名がアンケートに回答。
その回答内容は、植樹そのものを楽しみとして参加された方に加え、防災対策としての取り組みに感心があって参加された方や林業の再生に繋がることへの期待を抱いてくれている方など様々でした。
また、チェーンソー講習会にも参加できたことが自身のスキルアップに繋がるのでは…との想いを抱かれた方もおられ、今後は救援隊のメンバーの一員として活躍したいとの嬉しい意思を表してくれた方も4人にも上った。

活動報告書

番号

21

【団体の概要】

事業名： タケジビエ ～タケ切ってジビエゆうごはん～
 団体名： 株式会社 ラフディップ

【活動の概要】

中山間地域の課題である放置竹林や鳥獣害などについて、楽しみながら学ぶ体験型イベント。イベント実施に向けて物部川沿いのスギ林の侵入竹を整備し、ダム湖が望める気持ちの良い空間づくりを行った。
 イベント当日は竹を切り整備をする体験を行い、環境保全の大切さを学ぶとともに、切った竹を使って秘密基地やアスレチックを作り、自然に親しみを持ち、森林に関心を持つきっかけとなるような活動を行った。森林体験後のジビエゆうごはんでは、ジビエクイズなど子どもから大人まで楽しみながらジビエについて学べるよう工夫をし、地域の問題や課題を資源と捉えチャンスに変える取り組みなどを美味しいお料理を味わいながら学習する機会とした。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年11月29日(日)			
場 所： 香美市香北町太郎丸の物部川沿い(民有林)			
日 程：			
イベントスケジュール			
10:00 参加者集合 開会式			
10:15 林内での注意事項などについて説明			
10:30 物部川沿いの林へ移動			
10:45 森林整備体験スタート 竹林にて竹林の整備の必要性などの話 竹の食器づくり			
12:30 休憩 (お弁当や飲み物は持参)			
13:30 プチトソーヤ体験(秘密基地や竹アスレチックをノコギリやロープを使い制作)			
15:30 作った遊具でみんなで遊ぶ			
16:30 ジビエ ゆうごはん (ヌックスキッチン西村氏)			
18:30 閉会式 解散			
募集地区：	高知県内	募集対象：	小学生以上
募集方法：	SNS・フリーペーパー・ラジオ・DMなど	参加費等：	4,500円
参加人数：	大人 16名	子供	7名
	スタッフ 7名	講師(外部指導者)	5名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
11/16ラジオHi-six Shake! Shake! Shake!			
11/24 eyeプラススーパー「高知を元気」のコーナー			
11/29当日の取材: 頑張れ高知えこ応援団(1/10放送予定)、高知新聞(12/5掲載)、読売新聞			
○参加者・スタッフの感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・体験だけではなく、森のことや食のこと色々聞けてお勉強になりとても楽しかったです。 ・子供たちが自然の中で遊ぶ機会がほぼなく、初めてのジビエ料理体験もできて本当によかったです。 ・竹の器づくり、竹のハウス作り、そして子どもたちの希望を形にして実現させてあげられる大人の力、すばらしい! ・子供たちが自然の中で楽しむことができ貴重な体験ができてうれしかったです など			

活動報告書

番号

15

【団体の概要】

事業名: 「わたしの千本山」プロジェクト
 団体名: 魚梁瀬山の案内人クラブ

【活動の概要】

「わたしの千本山」をテーマに、広く一般から募った千本山にまつわる画像・動画に加え、案内人や植物の専門家による解説の様子などを盛り込んだ動画を5本程度制作して記録として残す。この際、一般参加者を募集して同行してもらい、道中の様子や感想などの場面も撮影する。単なる記録映像でなく、より身近に感じていただけの物として編集し、なかなか現地に足を運べない方や、新型コロナの影響で県外などから来村しにくい情勢でも千本山を楽しんでいただけるよう、クラブのYouTubeチャンネルを立ち上げて掲載する。

【プログラム】

実施年月日:	令和2年9月5日(土)		
場 所:	馬路村魚梁瀬千本山		
日 程:	8:30 魚梁瀬森の駅前集合 9:30 ↓ 「わたしの千本山」プロジェクト散策動画撮影ツアー 14:30 15:30 魚梁瀬森の駅前解散		
募集地区:	高知県内	募集対象:	高知県民
募集方法:	SNS、新聞	参加費等:	なし
参加人数:	大人 5名	子供	1名
	スタッフ 3名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞朝刊(令和2年9月1日)			
○参加者・スタッフの感想			
千本山を後々へ伝え残せる、後継者が育ってくれることを願う。いつまでも自然の美しさ、千本山を残していけるといいですね。ツアーの中で女子だけの登山をやってみてはという意見があったが、千本山女子会ツアーのような計画をしてはいかがでしょうか。気持ちよく久しぶりの登山を満喫しました。コースも整備されていて歩きやすかったです。ありがとうございました。スタッフでない立場での登山は久しぶりで楽しかったです。スタッフの皆様の気遣いに感謝です。本日は楽しく山を知ることができました。思っていたより歩きやすく、気持ちよく山に登れてよかった。			

実施年月日:	令和2年9月12日(土)		
場 所:	馬路村魚梁瀬千本山		
日 程:	8:30 魚梁瀬丸山公園森の駅前集合 9:30 ↓ 「わたしの千本山」プロジェクト散策動画撮影ツアー 13:30 14:30 魚梁瀬丸山公園森の駅前解散		
募集地区:	高知県内	募集対象:	高知県民
募集方法:	SNS、新聞	参加費等:	なし
参加人数:	大人 8名	子供	0名
	スタッフ 4名	講師(外部指導者)	0名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞朝刊(令和2年9月1日)			
○参加者・スタッフの感想			

大変タメになる話(天然林、歴史、木々など)が聞け、さらに良い運動になって、良い汗がかけました。これからも頑張ってください。ありがとうございました。コロナの状況をかんがみながらも地域のお宝を共有し、楽しい催しを組んで頂き「わざわざ訪れたい里山」を構築してください。魚梁瀬杉、耳にした事はありましたが実際まじかに見て感動しました。もっとアピールしてください。とても楽しいイベントでした。今度は山頂まで行ってみたいです。近くにいて初めて千本山に登る事ができて感激です。ありがとうございました。人生で初めて登った山が千本山で初心を感じさせてくれる山でした。四国の山に登りますがベスト3に千本山が入っています。これからも千本山を後世に残してもらいたい。

実施年月日: 8月29日～1月31日 千本山にまつわる画像・動画の募集

場 所:

日 程:

(募集準備)

8月9日 7:30 魚梁瀬集落内、満木荘前道路のダム湖畔にて撮影

8:30

↓ 千本山撮影

11:30

12:00 魚梁瀬集落内、満木荘前道路のダム湖畔にて撮影

(募集について)

写真・動画の募集をSNSや新聞記事を通じて県内に広く呼びかけ、#(ハッシュタグ)わたしの千本山プロジェクトと入力してもらい、投稿してもらうことでそれぞれの千本山の記憶や思い出を記録し、アーカイブすることを目的とした活動を行った。

(動画完成後について)

動画の完成後は、「わたしの千本山」動画完成披露座談会を12月に魚梁瀬多目的施設で開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、高知県においても特別警戒が出されたため、1月に延期とした。しかし、依然感染拡大が収束せずやむなく中止することとし、(当初は、無観客でも行う予定としていたが、登壇者への配慮や使用予定だった施設の感染防止対策などにより、開催しない旨を決めた。)動画はYouTubeにて公開した。

募集地区:	高知県内	募集対象:	高知県民
募集方法:	SNS、新聞	参加費等:	なし
参加人数: 大人	名	子供	名
スタッフ	名	講師(外部指導者)	名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

高知新聞朝刊(令和2年9月1日)、NHK特集こうちいちばん(その後、BSにて4Kで全国放送)

○参加者・スタッフの感想

今回の事業の紹介動画を作る目的で行ったが、初めての試みで、しかも不特定多数の方が目にし、残り続けるものと考えると緊張した。

投稿しなれている人、していない人と分かれていたり、情報を公開にしていなかったり、想像していたよりうまく集めることができなかつた印象でした。しかし、新聞に記事が載った時や、テレビ放送された時の反響は大きく、問い合わせや、ご協力を得ることができ、大変感謝でいっぱいです。こうして記録に残すことは、その人一人一人の思いを伝えていくことだと改めて感じる事ができた。締めくくりとして座談会を開催したかったが、情勢が変わらず残念だった。今回初めての取り組みで、課題もいくつかみえたが、今後もこういった活動をしていくことは、スタンダードになっていけると手ごたえを感じた。

活動報告書

番号

9

【団体の概要】

事業名： 2度目の四万十樵養成塾
 団体名： 公益財団法人 四万十川財団

【活動の概要】

チェーンソー講習を一度受けただけで山から遠ざかっている人が多く、もう一度山と結びつけ、その後の森林ボランティア参加のきっかけとしたいという目的で、間伐作業を通じてチェーンソーや伐倒技術の再確認と経験値を上げる活動を行った。

【プログラム】

実施年月日：	令和2年11月14日(土)～令和2年11月15日(日)		
場 所：	高知県高岡郡四万十町大正 トラストの森		
日 程：	1日目	2日目	
	9:30 集合	8:30 集合	
	10:30～12:00 チェーンソーおさらい	9:00～12:00 目立て・間伐作業	
	13:00～16:00 間伐作業	13:30～14:00 メンテナンス	
	17:00 終了・解散	14:30 終了・解散	
	18:30～20:30 交流会		
募集地区：	四国内	募集対象：	チェーンソー講習を受けたことがある人
募集方法：	HP掲載、SNS、チラシの配布、案内送付 参加費等：		6500円
参加人数：	大人 8名	子供	名
	スタッフ 6名	講師(外部指導者)	3名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○参加者・スタッフの感想			
<p>今回の募集対象者がかなり限定されていたため参加者を集めるのが非常に難しかった。間伐作業は初めての試みであったが、チェーンソーで実際に自らが考えながら木を倒すという技術の向上につながったと感じた。参加者も改めておさらいができ、実践もできたため満足度は高かったようだ。参加者の能力差が大きく、次回開催する際はもっとターゲットを明確に絞った企画を行い、森林を正しく管理していく人を養成していきたい。</p>			

活動報告書

番号

※記入しないでください

【団体の概要】

事業名:	～森林インストラクターと訪ねる～秋の天狗高原森林セラピーロード散策
団体名:	高知県森林インストラクター会
代表者:	荒尾 正剛
住所:	〒780-8063 高知県高知市朝倉丙208-1
電話:	090-8690-7727
FAX:	088-844-4884
HP:	HP : http:// kochiforestinstructor.web.fc2.com/ 、Fb : 高知県森林インストラクター会
E-mail:	arrachan@mail.goo.ne.jp

【活動の概要】

○ 概要

カルスト学習館において、カルスト地形の起源、地域特有の動植物について解説を受けたのち、天狗高原セラピーロードの散策に入った。セラピーガイドの解説のもとに散策し、森林浴を兼ねた樹木や植物などの観察を行うことにより森林の役割と重要性について理解を深めることができた。

なお、この行事は、COVID-19感染拡大が懸念され、多くの行事が中止されている現状のもと、いわゆるウィズコロナとも云われる今後の行事のあり方を率先して実践し、最大限の対策により、最大限に満足できる行事として検討を重ねて実施した。



出発前の説明、留意事項



ウッドチップを踏みしめ散策する参加者



ブナ、ミズナラ林の散策



集合写真



アオダモ名称起源の実証実験
(分布するアオダモ枝を水に浸し、ブラックライトで照らすと青く発光する)

■観察した植物、菌類

木本類

ウリノキ、クサコアカソ、ハリギリ、ウラジロモミ、ミツバウツギ、ガマズミ、カラマツ、ダンコウバイ、シロモジ、ヤマグワ、ナガバノモミジイチゴ、イタヤカエデ、ヒメウツギ、ケヤキ、トチノキ、ホオノキ、ヤマアジサイ、ウメモドキ、カマツカ、イヌザクラ、クマシデ、アウブキ、カシカエデ、エンコウカエデ、クロモジ、コゴメツツジ、アサガラ、ブナ、ミスナラ、ヒメシャラ、コシアブラ、

草本類、苔類等

シロヨメナ、ヒナシャジン、マムシグサ、アオテンナンショウ、ユキモチソウ、シラネセンキュウ、アキノキリンソウ、キレンゲショウマ、クマガイソウ、ジンジソウ、オオカサゴケ、ハイゴケ、スギゴケ、ヒナノウスツボ、ダイコンソウ、アケボノソウ、モミジガサ、ツルリンドウ、ヤマアザミ

菌類

キツブナラタケ、ニオイコベニタケ、ブナハリタケ、クギタケ、ヒラタケ、ウスキブナノミタケ、ニオイコベニタケ、アイトケ

■感染症対策の実施

①留意事項の説明

- 健康チェック、行事概要、留意事項説明、思慮配布は、乗車前に車外にて実施した。

②バス車内

- 座席シートは、運転手に説明のうえアルコール噴霧にて消毒を実施した。
- 走行時は外気循環、前方及び後方の窓を透かし換気に努めた。
- 乗車中は説明は行わず、参加者同士の会話は最小限にするべく周知した。
- マスク着用を徹底した。
- 参加者には、資料のほかマスク、除菌シート、ニトリル手袋、軍手、ゴミ袋を個別に配布し、接触機会毎に使用する旨を徹底した。

③散策時

- セラピーロード散策であることから、下記条件のもと、散策時のマスク着用については、個人の責任とした。
 - 家族、親友などフィジカルな関係にある参加を除き、参加者毎に2m以上の間隔を保持することとした。
 - ガイドは最前列、スタッフは参加者5名毎に配置し、ガイドの説明を後方に伝えるほか、ホワイトボードにマジックで植物名を記載し掲示した。
 - ふりかえり、アンケートについては終着地からバスに乗車するまでに車外で実施した。

■対策を実施した感想及び改善点

- 参加者には意図を十分に理解していただくことができた。
- バス車内で音楽を流すなど時間を有効に活用するための検討が必要である。
- 今回はテストケースとして感染症対策に要する物品を配布したが、単発行事では各自準備するように周知徹底することが難しいため、今後も配布が必要である。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年10月18日（日）

場 所： 天狗高原セラピーロード

日 程：

7:15 集合（四国森林管理局駐車場）
7:30 挨拶、趣旨、日程、COVID-19対策の留意説明（車外）
7:45 出発
10:00～10:20 行事の趣旨、概要、注意事項説明（天狗荘）
10:30～14:00 天狗高原森林セラピーロード散策（樹木学習、自然観察）
（昼食、休憩含む）
14:00～14:30 振り返り、質疑、アンケート記入回収
14:30 出発（大引割出口林道）
17:00 到着、解散（四国森林管理局駐車場）

募集地区： 県内全域 募集対象： 一般（5km程度の登山が可能な方）

募集方法： 高知県森林インストラクター会ホームページ、FBへの掲載、県内施設等への配布 参加費等： 無料

参加人数： 大人	19名	子供	1名
スタッフ	5名	講師（外部指導者）	2名

○マスコミ等での紹介例（あれば）
なし

○参加者・スタッフの感想

- ・歩きやすかったのが景色を良く見ながら散策できた。
- ・一度行って見たかった天狗高原のセラピーロードを楽しむことができた。
- ・もう少しゆっくり行けたらいいなと思った。
- ・様々な植物が見られて良かった。
- ・自然に触れてリフレッシュできた。
- ・樹木や植物の解説をもっとしながら散策をして欲しい。2名
- ・ヒメシャラの林に感動した。
- ・歩くペースがバラバラでセラピーの講師からの説明が聞けなくて残念だった。
- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・講師、スタッフの対応が丁寧であった。
- ・コロナでイベントが中止になる中、策を講じて開催したことに感謝する。

活動報告書

番号

※記入しないでください

【団体の概要】

事業名:	～街の中で森に親しむ～自然の恵みを活用したクリスマスリースづくり教室開催事業
団体名:	高知県森林インストラクター会
代表者:	荒尾 正剛
住所:	〒780-8063 高知県高知市朝倉丙208-1
電話:	090-8690-7727
FAX:	088-844-4884
HP:	HP : http:// kochiforestinstructor.web.fc2.com/ 、Fb : 高知県森林インストラクター会
E-mail:	arrachan@mail.goo.ne.jp

【活動の概要】

○ 概要

近年、クリスマス飾りは派手さを増し、石油製品をふんだんに使ったものが目立つようになってきた。このため、身近な自然素材を主体的に活用したクリスマスリースづくりを通して、県民の皆さんの森林への親しみを支援することにより、こうち山の日(11月11日)の制定趣旨に基づいた森林の持つ働きやその恵みに理解を深めることを目的として開催した。

なお、この行事は、COVID-19感染拡大が懸念され、多くの行事が中止されている現状のもと、いわゆるウィズコロナとも云われる今後の行事のあり方を率先して実践し、最大限の対策により、最大限に満足できる行事として検討を重ねて実施した。



講師(金子生花店濱田氏)紹介、留意事項説明



県内各地から収集した自然の材料を活用



県内各地から収集した材料を活用



熱心に制作する参加者



集合写真

■準備した材料

- かずら類
マタタビ、シマサルナシ（しらくちかずら）、クズ、アケビ、ムベ、ノブドウ
- 木の実
クロマツ、アカマツ、ヤシャブシ、ヒメヤシャブシ、ノグルミ、マテバシイ、シリブカガシ、ブナ、フヨウ、ナンキンハゼ、ヘクソカズラ、ツルウメモドキ、ヒノキ、スギ
- 実の殻
タカサゴユリ、ウバユリ、タキユリ、タチドコロ、ヤマノイモ、ハコネウツギ、シラン、アヤメ
- 生の葉物と実物
カイズカイブキ、クリスマスホーリー、シャリンバイ、ハイゴケ
- その他
貝殻、リボン、クリスマス飾り

■感染症対策の実施

①留意事項の説明

- 体温、健康チェックの実施、留意事項説明、配布は会場入り口にて実施のうえ、各自アルコール消毒したうえでマスクを着用して入場することを徹底した。

②会場

- 会場内に、1.8m角のブルーシートを2m間隔を開けて10枚設置し、各シートは基本的に家族、友人を基本とした4名以内とした。
- 家族、親友などフィジカルな関係にある参加を除き、参加者毎に2m以上の間隔を保持することとした。
- 会場は常に外気を取り入れ換気に努めた。
- 行事内容の留意点、約束事は、最初に簡潔かつ的確に短時間で行った。
- 製作中は、参加者同士の会話は最小限にするべく周知した。
- 参加者には、除菌シート、ニトリル手袋、ゴミ袋を個別に配布し、接触機会毎に使用する旨を徹底した。
- ふりかえりについては、大きな円形になって実施した。

③終了後

- 消毒液を浸した雑巾、アルコール除菌スプレーをそれぞれのシート毎に設置し、製作終了後速やかに掃除、除菌するように徹底した。

■対策を実施した感想及び改善点

- 参加者には意図を十分に理解していただくことができた。
- 今回は感染症対策に要する物品を準備、配布したが、今回のような単発行事では各自準備するように周知徹底することが難しいため、今後も配布が必要である。
- 感染症予防対策により、多くの経費と廃棄ごみが生じるため、今後の経費圧縮とごみ減らしについて、検討を進めることが重要である。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年12月6日（日）

場 所： 四国森林管理局

日 程：
 9:00 講師、スタッフ集合（四国森林管理局）
 10:00～10:10 行事の趣旨、概要、注意事項説明
 10:10～10:30 高知県の森林状況と課題、材料の解説
 10:30～12:00 クリスマスリース製作
 12:00～12:30 振り返り、質疑、アンケート記入回収
 12:30～13:00 後片付け、スタッフミーティング

募集地区：	県内全域	募集対象：	一般
募集方法：	高知県森林インストラクター会ホームページ、FBへの掲載、県内施設等への配布	参加費等：	無料
参加人数：	大人 34名	子供	5名
	スタッフ 4名	講師(外部指導者)	1名

○マスコミ等での紹介例(あれば)
なし

○参加者・スタッフの感想

- ・配布していただいた植物リストが非常に参考になった。
- ・身近にいろいろな材料があることを知った。
- ・材料集めから準備までお疲れ様でした。
- ・今年は行事が少ないため、久しぶりにリフレッシュできた。
- ・単なる作品作りだけではなく、森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・講師、スタッフの対応が丁寧であった。
- ・コロナでイベントが中止になる中、策を講じて開催したことに感謝する。
- ・冬場は寒いので、暖房を強く効かせて欲しい。

活動報告書

番号

17

【団体の概要】

事業名： 秋の樹木調査隊 樹名板を作ろう！ in 三原村キャンプ場
 団体名： 三原村ヤーマンズ

【活動の概要】

三原村キャンプ場に生育している草木、樹木調査と保護活動及び樹名板の設置。
 大人、子供、村民と村外周辺地域住民、移住者等、森林学習を目的とした交流。キャンプ場施設のゴミ拾い、草刈り、トイレ掃除。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年11月8日(日)			
場 所： 三原村キャンプ場			
日 程：			
9/13(土)	13:00~15:00	事前草木樹木調査、ミーティング	講師1名 スタッフ4名
11/3(火)	14:00~15:00	草刈り、雑技払い、ゴミ拾い、トイレ掃除	スタッフ2名
11/6(金)		どんぐり、葉等資料収集	スタッフ3名+講師1名
11/8(日)		イベント当日 ※7日予定でしたが雨天のため翌日に変更	
	9:00	集合 あいさつ	
	9:30~12:00	樹木調査、解説、樹名板設置	
	12:00	昼食 (BBQ&どんぐり餅など)	
	13:00	田代先生の樹木及びどんぐりの話	
	15:00	集合写真、終了の挨拶~撤収	
募集地区：	幡多郡	募集対象：	特になし
募集方法：	チラシ、Facebook, 口コミ	参加費等：	なし (昼代別途500円)
参加人数：	大人 8名	子供	2名
	スタッフ 8名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○参加者・スタッフの感想			
田代光子さんの樹木説明がとても勉強になりました。村内に生育している身近な樹木の関心が広がり、地域の魅力再発見をする事になりました。また昼食のどんぐり餅は大変美味しく、どんぐりを食べる事やその他樹木を活用する事が人と森の関係にとっても大事な事であると実感しました。			

活動報告書

番号
1

【団体の概要】

事業名： 情報交流館ネットワーク展示会

団体名： 情報交流館ネットワーク

【活動の概要】

森林や自然に関わる情報交流館ネットワークの構成団体が展示を行い、日頃の活動をPRするとともに、展示を見に来られた方に森林の大切さ、森に親しみ、自然環境を大切にする心を育むことを目的とした展示会。

【プログラム】

実施年月日：	令和2年11月15日(日)～令和2年11月29日(日)	情報交流館なかまたち展
	令和2年12月9日(水)～令和2年12月27日(日)	来館者メッセージ展示期間
場 所：	高知県香美市土佐山田町大平80番地 高知県立森林研修センター情報交流館	
日 程：	9:00～17:00 情報交流館のなかまたち展 来館者に展示を見た後、メッセージを書いてもらう。	
	【情報交流館ネットワーク出展団体】 日本樹木医会高知県支部・高知県緑サポーター会・森ときのこを愛する会・森の学校 木エクラフト倶楽部・情報交流館 知恵袋の会・土佐竹とんぼの会・くらしと炭焼きの会・森の元気！お助け隊・高芝工房・竹林の整備お助け隊・よど川森林救援隊・NPO土佐山アカデミー・奥ものべを楽しむ会・ネイチャークラフト研究会・高知県森林インストラクター会・情報交流館アサギマダラの里・しんかんバンド・木楽会 ・情報交流館なかまたち展終了後に、来館者メッセージに飾り付けをして、館内に展示する。	
募集地区：	県内全域	募集対象： 一般
募集方法：	ホームページ・小学校へのチラシ配布等	参加費等： 無料
参加人数：	大人 49名	子供 79名
	スタッフ 2名	講師(外部指導者) 名
○マスコミ等での紹介例(あれば)		
○参加者・スタッフの感想		
スタッフの感想： ・例年と違って3密にならない様に、工夫をすることが大変でした。 ・展示パネルに興味を持って、情報交流館ネットワーク団体に入会希望する方もいて、森林等に関する情報の発信ができたと思います。 ・メッセージを書いた方に松ぼっくりツリーキットをプレゼントすることで、家族連れの方がたくさん来て、『松ぼっくりツリーに飾り付けが楽しみです。』と喜んでくれて良かったです。 ・来年は、コロナ対策をして、少しでも木工体験をできたらいいと思います。		
※来場者の感想を別紙で添付しています。		

活動報告書

番号

4

【団体の概要】

事業名： 2020ふなと四万十川源流点ウォーキング
 団体名： 船戸活性化委員会「四万十川源流点」

【活動の概要】

○概要

四万十川源流地域の豊かな自然環境の中を地元ガイドとともにウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただく。
 満天の星本社駐車場から四万十源流点までの往復16km、四万十源流センターから四万十源流点までの往復8kmの2コースを設定

【プログラム】

実施年月日： 令和2年11月14日(日)
 場所： 高知県高岡郡津野町船戸地内 満天の星・四万十川源流点・集落活動センターふなと
 日程： 11月1日(日)古道整備
 11月14日(土)ウォーキングイベント(参加者数:50名+スタッフ18名+講師2名)
 8:30 満天の星本社駐車場 集合、開会セレモニー
 9:00 ウォーキング出発(堂海公園出発者 車で移動)
 11:30 四万十川源流の碑到着 源流点折り返し
 12:30 集落活動センターふなとで昼食(今年は弁当)
 14:00 河内五社神社(秋の例祭津野山古式神楽・船戸花取り踊り鑑賞)

募集地区：	高知県内	募集対象：	ウォーキング可能な方
募集方法：	津野町HP・ラジオ・チラシ・	参加費等：	一人2,000円
参加人数： 大人	50名	子供	0名
スタッフ	18名	講師(外部指導者)	2名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

2020年11月17日付け高知新聞21pで紹介された。記者本人も参加された。

○参加者・スタッフの感想

・(参加者)：好天の中楽しい一日でした。コロナ禍の中大いにリフレッシュできました。有難う御座いました。初めてのツウツウ、楽しく風が気持ち良かったです。美味しい食事に景色も楽しめて他のイベントもぜひ参加したいと思いました。地域の方々の力を感じました。このような活動が末永く続きますように。

・(スタッフ)：本年はコロナウイルス感染が拡大する中、一時中止も検討したが、屋外の事業であり感染症対策を充分注意して行うこととした。コロナ禍で参加者が少ないと思っていたが、募集を募ったところ50名の参加があり、例年通り開催できたことを安堵している。多くの方に参加いただき嬉しかった。来年はせいらんの里がリニューアルオープンするので、新たな気持ちで実施できたらと思います。

活動報告書

番号
14

【団体の概要】

事業名： 大月の製炭学習と里山への植栽活動

団体名： 大月町備長炭生産組合

【活動の概要】

製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやどんぐりの収穫体験をすることにより、町内外の方に自然に親しんでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年11月14日(土)

場 所： 大月町内の山林と炭窯

日 程：

9:00～ 開会
 9:30～ 山林へ移動(バス)
 10:00～ ウォーキング(どんぐり拾いを兼ねる)
 10:30～ 植栽
 12:30～ 炭窯へ移動(バス)
 13:00～ 昼食
 14:00～ 備長炭づくり体験
 14:30～ 苗木づくり
 16:00～ 閉会、解散

募集地区： 高知県内

募集対象： 県内の小中高生、県民

募集方法： 町内各戸へのチラシの配布等

参加費等： 小学生500円、中学生以上1,000円

参加人数： 大人 28名

子供 1名

スタッフ 7名

講師(外部指導者) 名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

○参加者・スタッフの感想

官民の連携により、地元の産業を将来に繋げていこうとしている取り組みが素晴らしいと思います。(参加者女性)

自分たちの取り組みに対して、このように多くの方が参加・協力してくれ感謝しています。(スタッフ)

活動報告書

番号

18

【団体の概要】

事業名： 持続可能な山の暮らしを考えるSDGs勉強会

団体名： 土佐塩の道保存会

【活動の概要】

第1回 SDGsの基礎と、自分たちの暮らす地域に照らし合わせた身近なSDGs「持続可能な暮らし」について学ぶ。中身から容器に至るまですべて自然に還る素材で、地元の素材で作られた「塩の道弁当」の昼食を食べていただき、塩の道保存会の活動の趣旨を知ってもらう。
 第2回 塩の道が往還道として使われていた頃の山の暮らしや、旅人が活用していた携行食を実際に作って体験することで、当時の不便さと山の自然の豊かさを体験して、生きるための知恵と力を学ぶ。
 第3回 自分たちの暮らす地域の身近な問題、課題を出し合い、SDGs「持続可能な暮らし」について考える。
 第4回 自分たちの暮らす地域の身近な問題、課題を出し合い、未来の目標を作る。

※各回、動画撮影をしてDVD4枚分に編集し、今回参加出来なかった地域関係者や、関係団体に希望があった場合貸し出しをする。成果物は3、4回目の内容を集約したものを冊子として作成、印刷し、4回の参加者全員と、香美市長、香南市長、香美市物部町の学校や香美市教育委員会、その他希望者に配布する。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年10月10日(土)

場 所： 香美市物部町大栃1390-1 香美市役所物部支所

日 程：

9:30～ 受付

10:00～12:00 (公社)森と緑の会こうち山の日推進事業の活動説明、挨拶、SDGsの基礎を学ぶ

12:00～13:00 塩の道弁当の昼食

13:00～14:00 自分たちの地域のSDGsについて学ぶ

募集地区： 高知県全域 募集対象： 地域活動に携わる方、興味のある方

募集方法： SNS、高知新聞、 参加費等： 1500円

参加人数： 大人 30 子供 0名

スタッフ 7名 講師(外部指導者) 1名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

○参加者・スタッフの感想

世間で流布させているSDGsについて初めて学ぶことが出来た。SDGsについての説明はボリュームがあり過ぎたが、自分たちの地域の身近な物事に照らし合わせた説明は、よく理解できた。SDGsの趣旨に添った内容の「塩の道弁当」は見た目も味も素晴らしかった。

実施年月日： 令和2年10月31日(土)

場 所： 香美市物部町庄谷相集会所、塩の道(庄谷相～黒見休憩所)

日 程：

9:00 物部町庄谷相(塩の道拠点集会所)集合・受付

9:40 携行食づくり

9:50 ウォーク開始

11:00～13:30 黒見公園で火起こし体験、塩の道弁当の昼食

13:40～ 黒見公園出発

15:30ごろ 庄谷相集会所到着、振り返り、アンケート記入後解散

募集地区： 高知県全域 募集対象： 地域活動に携わる方、興味のある方

募集方法： SNS、高知新聞、 参加費等： 2000円

参加人数： 大人	20名	子供	3名
スタッフ	7名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞			
○参加者・スタッフの感想			
山の自然を満喫した。昔の塩の道の歴史を学べた。火起こし、味噌玉作り、今までの便利さに気づかないことを学べて、SDGsの繋がりを感じました。 便利な現代社会の暮らしの裏側には、環境への負担も大きいことがわかった。			

実施年月日： 令和2年11月7日(土)			
場 所： 香美市物部町大栃1390-1 香美市役所物部支所			
日 程：			
9:30～ 受付			
10:00～12:00 持続可能な山の暮らしを考えるワークショップ(未来へつなぐ山の暮らし)			
募集地区：	高知県全域	募集対象：	地域活動に携わる方、興味のある方
募集方法：	SNS、高知新聞、	参加費等：	500円
参加人数： 大人	10名	子供	0名
スタッフ	7名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞			
○参加者・スタッフの感想			
自分たちの暮らす地域の問題点を改めて知ることができて、どう解決に繋ぐかを考えることが出来た。			

実施年月日： 令和2年11月14日(土)			
場 所： 香美市物部町大栃1390-1 香美市役所物部支所			
日 程：			
9:30～ 受付			
10:00～12:00 山の暮らしの目標を作るワークショップ(未来へつなぐ山の暮らし)			
募集地区：	高知県全域	募集対象：	地域活動に携わる方、興味のある方
募集方法：	SNS、高知新聞、	参加費等：	500円
参加人数： 大人	10名	子供	0名
スタッフ	7名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞			
○参加者・スタッフの感想			
日々衰退していく地域の中で無力さを感じていたが、今出来ること、やらないといけないことを多く理解できて良かった。この活動を活かせるように今後もご指導をお願いしたい。			

活動報告書

番号

13

【団体の概要】

事業名： 炭から学ぼう！炭で遊ぼう！山の暮らし(森のいきものと私たち 講演)
団体名： 立川体験交流の会

【活動の概要】

山の暮らしの大切さの再認識(紙芝居で雑木林を大切にし木炭として活用した)今回ははな炭の炭焼き体験をする。山の動物との関わりなどを「森のいきものと私たち」で講演をして戴く。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年8月9日(日)
場 所： 大豊町立川「イチノセシモの森」
日 程： 8:30 送迎バス出発(高知市はりまや橋観光バスターミナル4番乗り場)
9:30 会場到着・受付(イチノセシモの森駐車場)
10:00 開会挨拶、自己紹介、注意事項説明
10:05 紙芝居による炭の話・はな炭の火入れ
11:00 山崎三郎先生による講演
タイトル「森のいきものと私たち」
12:00 昼食
13:00 川遊び開始(立川川)
13:50 川遊び終了
14:00 はな炭の仕上げ・おやつ・アンケート(イチノセシモの森駐車場)
14:30 閉会
15:30 送迎バス到着(高知市はりまや橋観光バスターミナル4番乗り場)
※雨天が予想されたため、当初計画していた日程を変更し、時間の繰り上げをしています。

募集地区：	高知市、南国市	募集対象：	一般親子
募集方法：	リピーターヘチラシを添付	参加費等：	小学生以上1,000円小学生未満500円
参加人数：	大人 8名	子供	7名
	スタッフ 8名	講師(外部指導者)	2名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

マスコミから声はかかりましたが、コロナウイルス対策でお断りしています。

○参加者・スタッフの感想

- ・楽しかった。次回も参加したい。
- ・安全対策もきちんと出来ていたのが良かった。
- ・コロナ対策大変でしたがしっかりやってもらった。
- ・コロナウイルス対策が大変でした。